

第3回 熊本都市道路ネットワーク検討会

＜議事要旨＞

1. 前回検討会での主な指摘事項と対応案
2. 将来道路ネットワークの検討
3. 新たな道路ネットワークの機能イメージ
4. 短中期対策について
5. 議事のまとめ

新たな道路ネットワークの機能イメージについて共有が図られた。

（委員の主な意見）

新たな道路ネットワークについて

- 熊本地震を踏まえた循環性のある代替路ネットワークの必要性については理解。
- 道路渋滞による滞在時間の問題は、ビジネスだけでなく熊本の文化や歴史を知ってもらううえで損失となっている。
- 都心部でのマイカー利用が多くならないように、いろんな交通手段を選べる MaaS が上手く活用できるといい。
- 都心部の渋滞は道路容量が足りてないことが問題としてある。熊本市としてどう対処するのかしっかりと検討することが重要。
- 経済界としては1日でも早く整備されることを望む。熊本市長もシンポジウムで受益者負担の必要性も言われており、早期整備の観点からも有料化の検討を進めるべき。
- 中心部の道路空間の再配分を行うことで、公共交通とのベストミックスが可能となる。
- 数値目標として空港やICまでのアクセス時間を提示することはよいこと。
- 道路管理者だけでなく警察との連携も必要。

（今後の進め方）

- 国の短期対策として、保田窪交差点改良は1月から着手する。今後は流通団地入口交差点の改良に取り組む予定。
- 今回の検討会で共有した新たな道路ネットワーク機能については熊本県幹線道路協議会に報告する。
- 短期対策や中期対策については、引き続き国県市が協働して検討会の中で議論を深めていくこととする。